

一般財団法人 英語教育協議会

平成26年度（2014年度）事業報告

1. 英語教員研修事業

(1) E L E C 英語教育研修会(The ELEC Seminars for English Teachers)

文部科学省後援のもとに、各1日制の研修会をE L E C英語研修所にて下記のとおり実施した。

夏期：7月28日～8月16日（18日間）	受講者数：641名（前年605名）
冬期：12月25日、27日～28日（3日間）	受講者数：97名（前年100名）
春期：3月25日～30日（6日間）	受講者数：232名（前年151名）
	合計970名（前年856名）

なお、昭和32年以来の受講者累計は19,854名となった。

(2) 小学校外国語活動ワークショップ

文部科学省後援のもとに、各1日制の研修会をE L E C英語研修所にて下記のとおり実施した。

夏期：8月23日（土）	受講者数：22名（前年14名）
冬期：12月27日（金）	受講者数：25名（前年9名）

(3) その他教育委員会主催 教員研修会支援事業

下記の教育委員会主催の教員研修会を委嘱され、実施した。

東京都八王子市：1日間 3時間 2クラス	受講者数85名
石川県英語運用能力授業力向上研修	
：4日間 24時間 1クラス	受講者数（中学）24名
	1クラス 受講者数（小学校）16名
石川県ALTとの交流研修	
：1日間 5時間 1クラス	受講者数 180名

2. 英語教員支援事業

(1) 英語展望（E L E C Bulletin） 第122号 特集：「グローバルリーダーを育てる英語教育のグランドデザイン」の販売部数は614部であった。

(2) E L E C 賞

2014年度のE L E C賞は、厳正な審査の結果、A部門（実践記録）1名が受賞し、授与式と特別講演会が2015年2月28日（土）に行われた。

- ・ A部門 受賞者：中村洋（寿都町立寿都中学校教諭）
山下純一（函館工業高等専門学校）

受賞論文：ライティング活動が中学生の英語の学習意欲に与える影響—中学3年間の継続的な調査を基に—

本ELEC賞の提供を通じて最新の現場教育の立場と教授法の理論的研究等を収集し、それを小冊子にまとめ、研修団体、英語教育関係者へ配布し周知を図る。

(4) ELEC賞授与式・特別講演会:

日時: 2015年2月28日(土)

テーマ: 「グローバル化に対応した英語教育改革」

講師: 文部科学省初等中等教育局国際教育課 葛城崇氏

参加者: 36名

3. 一般研修等事業

(1) ELEC英語研修所(The ELEC Institute)

2014年度は以下のコースを開講した。

総合英会話コース:

午前部 週1日コース SA(土)

午後部 週1日コース A1-Mon(月)・LA1-Thu(木)

夜間部 週1日コース E1-Tue(火)・E1-Wed(水)・E1-Thu(木)

ビジネス英語コース:

夜間部 ビジネス英語初級コース EPB-Tue(火), ビジネス英語中級コースEPB-Wed(水)

スキル・トピック別コース:

午後部 ムービークラス AM(金)・ディスカッション(上級) ASD-Wed(水), ASD(金)

日本人講師による基礎英会話コース:

午前部 週1日コース OWM(水)

夜間部 週1日コース OME(月)

プライベートレッスン:

・学期制プライベートレッスン(需要不足により年度途中で廃止)

週1回 月、火、水、木、金の午前・午後(1レッスン45分)

・非学期制プライベートレッスン

受講回数・曜日・時間等を学期の枠組みにとらわれずに決められる

レッスン(1レッスン45分)

2014年度の研修所の延べ受講者数は以下の通りであった。*()内は2013年度
春学期 68名(67名)

夏学期	65名 (84名)
秋学期	71名 (66名)
冬学期	77名 (76名)
合計	281名 (293名)

本年度の受講者数は前年度を10%下回った。また、新規受講生は47名であった。
 ※上記人数には「夏期集中講座」と「1日英語セミナー」参加者は含めず。下記申込人数。

「夏期集中講座」

ディスカッションスキル：10名

プライベートレッスン：11名

発音クリニック：30名

「1日英語セミナー」

和食セミナー：6名

神田明神セミナー：8名

(2) 企業、大学向け英語研修

- 1) 企業向け英語研修では、既存企業については顧客企業の方向性を確認し、ニーズに合わせた研修内容の構築や定期的なクラス見学等を実施することにより、研修の質の維持・向上に努めた。新規獲得は問合せ減少により苦戦を強いられた。

研修内容は、一般ビジネス英語研修、出張前集中研修、新人研修、プレゼンテーション研修、TOEIC®対策研修、接客英語研修など様々な研修を実施した。英語が母国語ではないアジアや南米などの国々とのコミュニケーションを必要とする企業が多く、流暢さよりも簡潔さ・正確さを求める傾向は続いている。

研修の依頼理由は、これまで外国との接点が少なかった企業がグローバル化の影響で英語が必要になったため、今後の海外展開へ向けて、というものが多かった。

研修効果の測定については、大企業はTOEICの得点を指標として使うことが多いが、中小企業は仕事現場でどの程度、実際に英語が使えるようになったかを測る適切な方法を模索中の所が多い。

2014年度 企業研修売上： 38,030千円 (前年度38,574千円)

- 2) 大学からの受託講座については、神奈川大学、法政大学グローバル人材育成プログラムの講座を追加受託契約に至った結果、売上向上に寄与した。その他の既存の取引先においても追加受託をすることができた。また2015年度に向けては、法政大学がスーパーグローバル大学に選ばれたことから、大学教員向けの英語指導の受託をすることになった。スーパーグローバル大学創成支援事業による大学教育のグローバル化が進む中、学生向けの授業だけではなく、大学関係者を対象にしたこれまでにない様々な講座、英語教育支援の需要が生まれると考えている。

2014年度 大学研修売上： 130,541千円 (前年度87,006千円)

- 3) 本年度の英文添削・翻訳サービスの利用件数は個人7名並びに法人7社であった。(昨年度は個人8名、法人6社)

主な受注内容は、個人からは論文や応募書類の翻訳・添削、法人からは中学/高校教材原稿、一般語学教材原稿、美術館/博物館の展示案内、ウェブサイト原稿、企業紹介パンフレット等の翻訳・添削であった。

(3) 英語教育ポータルサイト事業

2012年7月、ELECは文部科学省と協力して「英語教育ポータルサイト」（サイト名「えいごネット」）をインターネット上で立ち上げた。この事業は文部科学省の英語教育に関する基本政策また関連情報の開示、各都道府県教育委員会の活動紹介、英語を駆使して活躍する日本人の紹介、やさしい英語ニュース等、全国の英語教員や英語教育関係者に役立つコンテンツの提供を主な狙いとしている。英語教育全般に関する情報発信基地として、今後のさらなる発展を目指す予定である。

4. 教材作成等事業

(1) 録音教材作成事業

平成26年度の売上は1億4,200万円（予算比5.80%増）で前年度の売上1億3,500万円から約700万円増という結果である。依然として出版社の出版点数の絞り込みや他社との競合により厳しい営業状況が続いている。

(2) 出版教材作成事業

平成26年度の書籍売上は以下のとおりであった。

日本語で話そう1	12冊	日本語で話そう2	12冊
日本語で話そう3	11冊	日本語で話そう4	37冊
英語の対話演習1	6冊	英語の対話演習2	6冊
マザーグース童謡集	1冊	英語辞書物語 上	1冊
英語辞書物語 下	7冊	合計:	93冊

事業報告の附属明細書について

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので附属明細書は作成しない。